

と し さ い せ い せ い び け い か く だ い か い へ ん こ う
都市再生整備計画(第3回変更)

む こ う ま ち え き し ゅ う へ ん お よ な が お か き ゅ う あ と し ゅ う へ ん ち く
JR向日町駅周辺及び長岡宮跡周辺地区

き ょ う と ふ む こ う し
京都府 向日市

令和7年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)–②

都道府県名	京都府	市町村名	向日市	地区名	JR向日町駅周辺及び長岡宮跡周辺地区	面積	280	ha
計画期間	令和5年度～令和9年度	交付期間	令和5年度～令和9年度					

目標
○大目標:「歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり」 目標1 交通結節点の機能を充実させ、にぎわいと活力あるまちづくりを推進する。 目標2 歴史資源を活かした魅力あるまちづくりを推進する。 目標3 市民交流を活発化し、ふるさと向日市に対する愛着と誇りを高める。
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本市では、大都市への交通利便性の高さや、新市街地の整備等により、近年、子育て世代を中心に人口が流入している。しかしながら、将来的には人口減少と高齢化が一層進むことから、活力と魅力あるまちづくりを進めていく必要がある。 このため、「人が集うふるさと向日」を目指して、市中心部の鉄道駅周辺や幹線道路沿いの「中心にぎわいゾーン」において、都市機能の誘導や都市基盤の整備を進める。
まちづくりの経緯及び現況
・本市は京都府南部乙訓地域に位置し、京都市都心部からは、南西に約7kmの位置にある。 ・本市の北側、東側、西側を京都市と、南西側の一部を長岡京市と接し、西部一帯は向日丘陵が横たわり、竹林が広がる緑豊かな地域となっている。 ・市域は、東西2km、南北4.3km、面積7.72km ² の西日本で一番小さな市(全国で3番目)であり、人口密度は、73.3人/haと京都府下で最も高い。 ・市内に鉄道駅3駅、市境に2駅を有し、交通利便性が非常に高い地域である。 ・市域の東側には国道171号や名神高速道路が通っており、また市の西方には平成25年4月に開通した京都縦貫自動車道が通っている。 ・市北部において、区画整理事業による新たな市街地が形成され、一時的に人口が増加している。 ・本市には、かつての日本の都である長岡京(784年～794年)の中心地が置かれ、我が国の政治や経済、文化の中心として栄えた地である。 ・本市には、史跡長岡宮跡大極殿、重要文化財の向日神社、史跡乙訓古墳群、西国街道の古い町家など数々の古都向日の歴史、文化を伝える観光資源が豊富に分布している。 ・本市では、平成25年度から平成29年度で「貴重な歴史を感じながら楽しく周遊できるまちづくり」として、都市再生整備事業に取り組み、平成27年2月には、向日市歴史的風致維持向上計画が国からの認定を受けた。 ・本市では、平成30年度から令和4年度で「向日市中心市街地及び長岡宮跡周辺地区都市再生整備計画」で事業に取り組んでいる。 ・市域を南北に貫くJR東海道本線により、東西に地域分断されていることから、土地利用の格差が生じている。JR向日町駅には、西側にしか改札口がなく、東側の住民にとって利便性が低い。 ・JR向日町駅東側では、区画整理事業によって地元企業による新たな産業拠点の開発が行われている。 ・市内で最も利用が多い寺戸公民館は、築40年以上経過している。
課題
・駅東側では新たなまちづくりへの動きが加速しており、駅機能を向上させ、東側の新たなまちづくりのにぎわいを既成市街地である西側へ取り込む必要がある。 ・本市固有の歴史・文化資源を活かした整備を行い、市民が愛着と誇りを持つことができ、市外の人々にとって訪れてみたいと思われるよう、まちの魅力をさらに高める必要がある。 ・本市は、京都・大阪のベッドタウンであることから、定住人口に対して交流人口が非常に少なく、まちのにぎわい創出が課題である。 ・本市は、南側からJR向日町駅までのアクセスを良くする必要がある。 ・寺戸公民館は、市内で最も利用が多いため施設規模、施設内容の拡充をするとともに、エレベーターを設置するなど、バリアフリー化を図る必要がある。
将来ビジョン(中長期)
・第2次ふるさと向日市創生計画(令和2年3月策定)において、施策の柱として、『歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり』を掲げ、歴史あふれる街づくりの推進、産業の活性化、都市基盤の整備を挙げている。 ・第3次向日市都市計画マスタープラン(令和2年3月策定)において、中心都市拠点の整備が示されている。 ・向日市歴史的風致維持向上計画(平成27年2月策定)において、歴史的建造物などの保存・活用やまちなか回遊性の向上などの整備方針が示されている。 ・向日市公共施設等総合管理計画(平成29年3月策定)において、市民文化系施設について、更新時には、利用状況や市民ニーズを踏まえ、施設の複合化・集約化を検討するとしている。 ・観光戦略プラン(平成29年3月策定)において、観光客の受け皿整備、観光に取り組む人材育成、観光資源の共有を通じた地域協働体制の整備を掲げている。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方 まちの賑わいを創出するため、JR向日町駅周辺に、医療施設、商業施設等の生活利便施設の誘導を図ります。 都市の魅力を高めるとともに、歩いて暮らせるまちの実現を図るため、街の顔であるJR向日町駅周辺において、鉄道による市街地の分断を解消する自由通路の整備や、市街地再開発事業による駅周辺の高度利用化、交通結節点の向上を図る駅前広場等の公共施設の整備を行い、駅前地域にふさわしい都市機能の集積や地域の活性化を図る。							
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 市民が住み続けたいと思えるように、生活利便性を高めるため、駅周辺への商業施設等の都市機能の誘導を図る。 まちの魅力を高めるため、駅周辺の高度利用化を図るとともに、自由通路や駅前広場等の整備を行い、駅の交通結節点機能の強化や駅周辺の交流人口の増加を図る。							
居住誘導方針の考え方 ※居住誘導促進事業を活用する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等							
一 体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォークابل推進事業の計画 ※一 体型滞在快適性等向上事業の場合もしくはまちなかウォークابل推進事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
滞在快適性等向上区域の考え方							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
JR向日町駅乗降客数	人／日	JR向日町駅の1日乗降客数(人)	都市機能の整備や強化を図り、来訪者数を増加させ、中心市街地の活性化を図る。	12,844	R2	14,500	R9
観光客数	人／年	向日市の観光客数(人)	都市機能の強化と歴史を活かしたまちづくりを推進することにより、来訪者数の増加を図る。	182,250	R2	485,000	R9
地域交流センター利用者数	人／年	地域交流センター(寺戸公民館)の年間利用者数(人)	地域交流拠点の整備により、市民活動や市民相互交流の活性化を図り、ふるさと向日市への愛着、誇りの意識向上を図る。	13,301	R4	16,600	R9

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
①交通結節点の機能を充実させ、にぎわいと活力あるまちづくりを推進する。 JR向日町駅に東西自由通路を整備し、駅前広場、自転車駐輪場及びアクセス道路について一体整備を行い、まちの活力を高める。		■都市構造再編整備集中支援事業 ・【基幹/地域生活基盤施設】西口駅前広場 ・【基幹/地域生活基盤施設】東西自由通路 ・【基幹/地域生活基盤施設】自転車駐車場 ・【基幹/道路】市道第3064号、第3033号線 【関連】JR向日町駅周辺地区市街地再開発事業
②歴史資源等を活かした魅力あるまちづくりを推進する。 既存の歴史的建造物等を活用し、地域の歴史や文化に触れる体験、交流、まちづくり活動等の拠点となるよう改修、整備を行う。 市内観光拠点の回遊性を向上させる。		■都市構造再編整備集中支援事業 ・【基幹/高質空間形成施設】観光ルートカラー舗装
③防災機能を向上させ、安心安全に暮らせるまちづくりを推進する。 浸水被害に備えた水防用資機材倉庫を高台に整備し、近年頻発する豪雨災害等に備える。		■都市構造再編整備集中支援事業 ・【基幹/地域生活基盤施設】地域防災施設
④市民交流を活性化し、ふるさと向日市に対する愛着と誇りを高める。 寺戸公民館の建替えに合わせ、市民ニーズに沿った施設の整備を行い、住民相互の交流を活性化させる。 市民のニーズに沿った公園の整備を行い、住民相互の交流を活性化させる。		■都市構造再編整備集中支援事業 ・【基幹/高次都市施設】地域交流センター（寺戸公民館） ・【基幹/公園】街区公園（（仮称）敷路ふれあい公園）
その他		
●事業終了後も、継続的に市民によるまちづくり活動が活発に行われるよう、まちづくりの機運を高められるように取り組んでいきたい。		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	5,867.3	交付限度額	2,898.2	国費率	0.494
---------	---------	-------	---------	-----	-------

「都市構造再編集集中支援事業」を活用した場合、本様式を使用すること

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	費用便益比 B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路		市道第3064号・第3033号線	向日市	直	約1,640m2	R5	R9	R5	R9	194.0	194.0	194.0	0.0	194.0	—
公園		(仮称)藪路ふれあい公園	向日市	直	約750㎡	R7	R8	R7	R8	88.0	88.0	88.0	0.0	88.0	—
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		西口駅前広場	向日市	直	約900m2	R5	R9	R5	R9	750.0	750.0	750.0	0.0	750.0	—
地域生活基盤施設		東西自由通路	向日市	直	約624m2	R5	R9	R5	R9	4,369.1	4,369.1	4,072.3	296.8	4,072.3	—
地域生活基盤施設		自転車駐車場	向日市	直	約731m2	R6	R8	R6	R8	143.0	143.0	143.0	0.0	143.0	—
地域生活基盤施設		地域防災施設	向日市	直	約482㎡	R5	R7	R5	R7	86.1	86.1	86.1	0.0	86.1	—
高質空間形成施設		長岡宮周辺道路美装化 (観光ルートカラー舗装)	向日市	直	約1,050㎡	R5	R9	R5	R9	17.0	17.0	17.0	0.0	17.0	—
高次都市施設	地域交流センター	寺戸公民館	向日市	直	約700㎡	R6	R7	R6	R7	511.9	511.9	511.9	0.0	511.9	—
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
合計										6,159.1	6,159.1	5,862.3	296.8	5,862.3	…A

統合したB／Cを記入してください

事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業														
事業活用 調査	事業効果分析	—	向日市	直	—	R9	R9	R9	R9	5	5	5	0	5
まちづくり活動推進事 業														
合計										5	5	5	0	5 …B

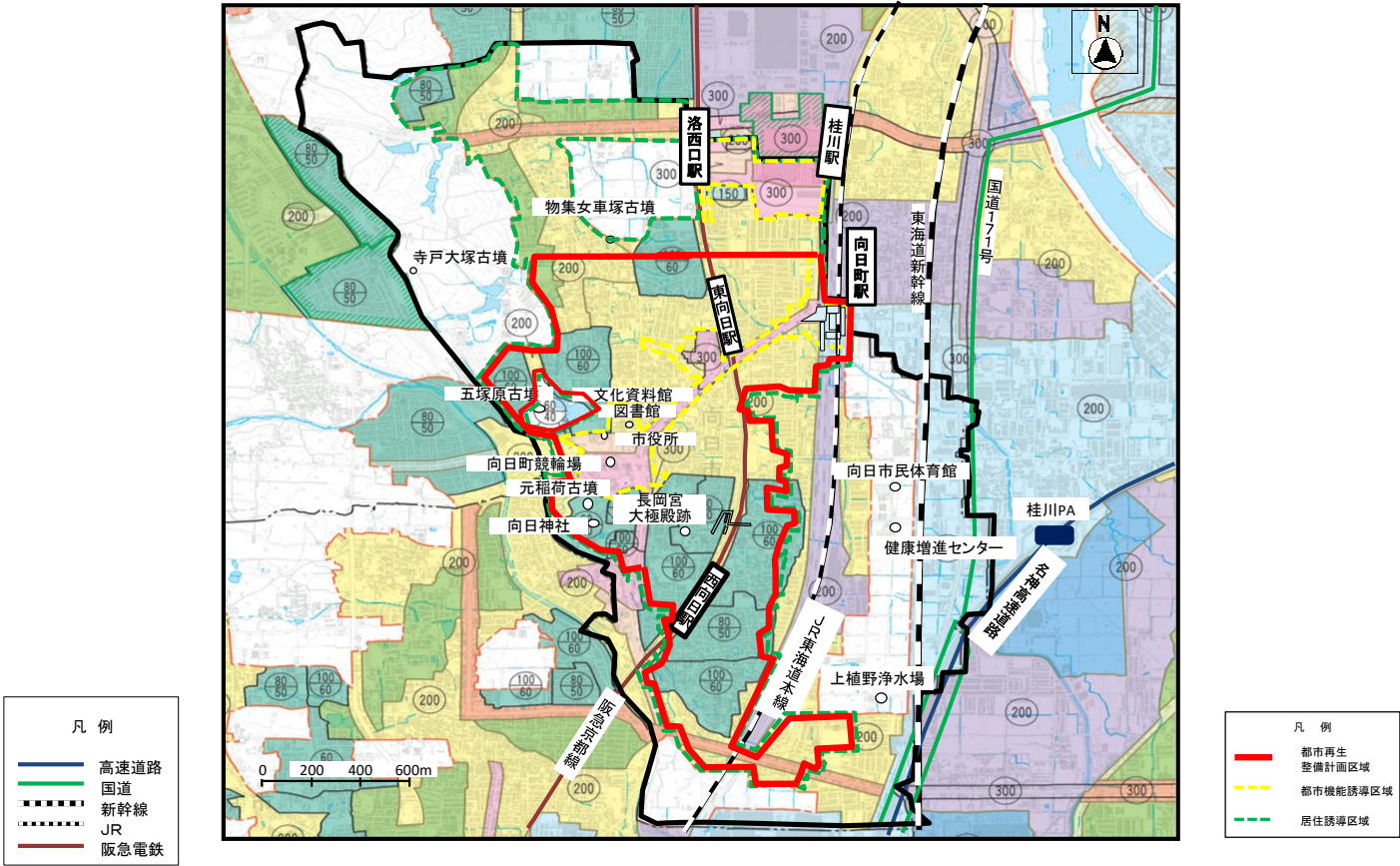
居住誘導促進事業													
事業		事業箇所名	事業主体	直／間	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負分担	うち民負分担	
居住誘導促進事業													
合計									0	0	0	0	0
											合計(A+B+C)	5,867.3	

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
					/	/	/	/			
					/	/	/	/			
合計					/	/	/	/			0

[illegible]

JR向日町駅周辺及び長岡宮跡周辺地区(京都府向日市)	面積	約280 ha	区域	向日市寺戸町、森本町、鶏冠井町、向日町、上植野町の一部
----------------------------	----	---------	----	-----------------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること



むこうまち えきしゅうへんおよ ながおかきゅうあとしゅうへんちく きょうとふ むこうし せいび ほうしん がいよう ず とし こうぞう さいへん しゅうちゅうしえん じぎょう
 JR向日町駅周辺及び長岡宮跡周辺地区(京都府向日市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	○大目標「歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり」	代表的な指標	JR向日町駅乗降客数 (人/日)	12,844 (R2年度)	→	14,500 (R9年度)
	目標1 交通結節点の機能を充実させ、にぎわいと活力あるまちづくりを推進する。		観光客数 (人/年)	182,250 (R2年度)	→	485,000 (R9年度)
	目標2 歴史資源を活かした魅力あるまちづくりを推進する。		地域交流センター利用者数 (人/年)	13,301 (R4年度)	→	16,600 (R9年度)
	目標3 市民交流を活発化し、ふるさと向日市に対する愛着と誇りを高める					

